



地域情報

渋川



『渋川・風景の記憶絵』と渋川学区のシンボルマーク、マスコットキャラクター“しぶはなちゃん”

編集発行 渋川学区まちづくり協議会

(事務局：草津市立渋川まちづくりセンター内)

☎525-0025 草津市西渋川二丁目9番38号

☎077-569-0350 FAX 077-566-5143

メールアドレス shibukawa@machikyou.jp

ウェブサイト http://www.machikyou.jp/shibukawa/

渋川学区 (2021年1月31日現在)

人口 9,492人

男性 4,738人 女性 4,754人

世帯数 4,299世帯

まちづくり協議会より

渋川学区の将来像 ～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～

子育て中の人を応援！

子ども育成部会 大庭幸治

1月16日(土)に、「すこやかセミナー」を開催しました。講師に日本青少年育成協会から主席研究員 大村伸介さんをお迎えし「子どもが本当の幸せを手にするパパママコーチング」と題して講演していただきました。またコロナ禍の中で初の試みとしてオンラインで開催しました。子育てをしていると「短所が目につきイライラする」と感じる時があります。そのような時は「短所が見つければ、長所に言い換えられる。そして長所は伸ばすことができる。口先だけの言い換えではなく『親が長所としてしっかり認識し行動を改めていくこと』が大切」とアドバイスされていました。講師の言葉に画面の向こうで大きくうなづく人が多く見受けられました。

参加者はオンラインでリアルタイムのやり取りをし、ステイホームで子育てのヒントを学ぶことができました。



自粛生活でも運動しよう！

健康福祉部会 糸井敏明



1月18日(月)に、健康運動指導士の中原今日子さんをお迎えし「いきいき筋力UP体操第2弾」を開催しました。前回に引き

続き会場内は常に換気をし、参加者同士は間隔を空けて座るなど、感染症対策をとりながら運営しました。寒さが厳しい上に自粛生活が続く中、運動不足解消につながるよう自宅のできるストレッチ運動や足の筋肉を衰えさせないためのワイドスクワットなどを教えていただきました。また、暑い夏場だけでなく冬でも水分補給は大切だということでした。参加者からは「自宅でも続けられるようがんばります。来年度も楽しみにしています」等の意見が寄せられました。

草津市のホームページにも運動不足による健康二次被害を予防するためのリーフレット等がたくさんアップされていますので、参考にして適度な運動を心がけましょう。

小学校の卒入学を祝う春の花を植えました

子ども育成部会 大庭幸治

2月20日(土)に、「花植えじゃがいも植え」を春を感じる晴天の下、66名の参加で開催しました。渋川小学校にて色とりどりの春の花を植え、畑にはじゃがいもの種いもを植えました。株式会社エターナル草津園芸から中野晋一さんをお招きして、花の植え方を教わりました。また、草津市農業協同組合の寺田憲司さんにもお越しいただき、じゃがいもの種いもを植える際の注意点や今後芽が出て収穫するまでの成長過程をユーモアたっぷりに教えていただきました。畑作業が得意な地域の人と子どもたちが協働で土に触れながら交流を深める良い機会となりました。最後に、リニューアルしたかまどベンチを紹介しみんなで集合写真を撮影しました。コロナ禍ではありましたが、地域の皆さんや部会員の皆さんにご協力いただいたおかげで、無事に終わることができました。





令和2年度を振り返って

事業が中止になり「ふれあい」の大切さを実感



《地域安全コミュニティ部会 部会長 林 栄治（渋川中町町内会）》

地域安全コミュニティ部会では、地域の安全見守り・防犯設備計画、河川や散在性ごみ清掃など住環境美化への取り組み、ならびにふれあいまつり・街あかり華あかり夢あかりなどの地域ふれあい事業を担当しております。この中でも中核事業である「ふれあいまつり」もコロナ禍の影響をもちに受けたことが今年度大きな出来事でありました。事業が中止になり改めて「ふれあい」の大切さに気付かされたことが皮肉にも大きな収穫であったのかもしれませんが。来年度になっても早々に事態が改善されるとは思えませんが、これからも地域の皆さまの思いにしっかりと耳を傾けながら10年先、20年先を見据え次代のために今できること、

やらなければならないことを皆さまとともに考え、また行動していきたいと思っています。コロナウィルスに始まりワクチン対応で締め括られる難しいこの一年、部会員の皆さんや事務局の皆さんのご協力とご支援により曲がりなりにも事業を進めることが出来ました。紙面をお借りし心から厚くお礼を申し上げます。



防犯灯の設置



一斉河川清掃



散在性ごみ一斉清掃



清掃ボランティア活動

認知症予防体操等は定員減で感染対策 「敬老会」小学校での式典等を断念



《健康福祉部会 部会長 糸井敏明（北町第四町内会）》

渋川学区の皆さん、日ごろは健康福祉部会事業にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、今年度は、令和2年1月15日に日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来、私たちの生活は一変しました。毎年、70歳以上の方を対象に渋川小学校で開催していました「渋川学区敬老会」は、総勢400人規模で感染拡大防止対策が困難なことや高齢の人は重症化しやすいことを鑑み、当協議会で検討した結果、やむを得ず中止いたしました。

代わりに、各町内会長や役員の皆さんのご協力を得て、敬老会対象の皆さんにお祝いの品を届けていただきました。同時にアンケートをお願いしたところ、600人以上(対象者の約半分)の方から回答をいただきました。「まちづくりセンターや小学校までは遠くて行けない」というご意見などを踏まえて、来年度以降の健康福祉部会事業や地域課題解決応援交付金事業で参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

また、毎年人気のウォーキング事業も残念ながら中止いたしました。申し込んでいただいた皆さんには、大変申し訳なく思っています。指導を依頼していたウォーキングの講師と相談し、自粛生活による運動不足解消のため、急遽「歩くことから始めよう」というポスターを作成し、各家庭で取り組んでいただけるよう全戸配布しました。

認知症予防体操や、いきいき筋力UP体操は、定員を減らしての開催となりましたが、参加された方には大変好評でした。外出の機会が減り、運動だけでなく地域の交流も難しい日々が続きますが、皆で感染拡大防止に努めつつ、一日も早く以前のように多くの皆さんと一緒に笑顔で活動できる日がくることを心から願っています。

各部長より ご挨拶



コロナ禍でも皆で工夫して事業を開催

《子ども育成部会 部長 大庭幸治（わんぱくプラザ渋川っ子）》



子ども育成部会では、地域の子どもと大人が協働で行う事業や、「愛の声かけパトロール」など青少年を見守りその保護者を支援する事業を行っています。

今年度はコロナ禍で感染防止対策が困難なことから、ふれあいコンサートはやむを得ず中止いたしました。6月開催の「じゃがいも収穫体験」では、かまどベンチに火をくべて穫れたてのじゃがいもを茹でて食べる体験を諦め、参加者が自宅で調理していただくことに変更しました。「あいさつ運動」は、小学校には作品を展示せず「地域情報 渋川」への掲載に代えて実施しました。また、1月には、初めてオンラインという形で「すこやかセミナー」を開催しました。先月の「花植え・じゃがいも植え」では小学校の卒業式と入学式を祝う花をプランターに植え、畑にじゃがいもの種いもを植えたあと、ひとりずつ寄せ植え体験を実施することができました。

そして、劣化が激しかったかまどベンチを新しく作り変えることができました。来年度の事業や災害時の炊出しに利用できるようになります。このような環境下でも、工夫して事業を開催することができたのはスタッフの皆さん、地域の皆さんのご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。



じゃがいも収穫体験



愛の声かけパトロール



寄せ植え体験

多くの事業が中止の中、人権学習会とソフトボール大会を開催！

《教育文化スポーツ部会 部長 川瀬靖聡（中出第四町内会）》



渋川学区まちづくり協議会の教育文化スポーツ部会は、部会の名前通り、渋川学区の人権教育の推進、渋川花踊りや渋川の歌の活動推進などの文化的な事業の奨励、渋川学区大運動会や各スポーツ事業による体力の増進を目指した行事を予定していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの方々の参加が見込まれるイベントのほとんどをやむを得なく取り止めることにしました。

その中で、草津市立人権センター職員の杉江範昭さんを講師にお迎えし、「新型コロナ禍環境下での人権」を主題に、感染などの問題を考慮して密を避け限られた受講者で人権学習会を開催しました。また、渋川スポーツ振興会主催で、渋川小学校グラウンドを使用したソフトボール大会を無観戦者の中、開催しました。来年度は例年通り多くの事業が開催できる環境になる事を願っています。



人権学習会
講師の杉江範昭さん



人権学習会
話を聞き入る受講のみなさん



ソフトボール大会始球式
たび丸君としぶはなちゃんの
コラボ



ソフトボール大会
ナイスバッティング
コラボ

渋川やすらぎ学級第7回講座と第8回講座を開催



1月13日(水)に、草津宿街道交流館館長八杉さんと学芸員の武富さんをお招きし、第7回講座「東海道よもやま話と浮世絵版画体験」を開催しました。徳川家康によって東海道が整備された話や、矢倉のうばがもちの休憩所が、瀬田の唐橋に向かう道と船に乗って大津へ渡る矢橋方面へ向かう道との分岐点だったことなどを、八杉さんから教えていただきました。

その後、武富さんの指導のもと浮世絵版画体験に移りました。色が異なる4枚の図柄がずれないように、版木にある目印の角に紙の端を合わせて刷ることから「見当をつける」の語源になっているという説もあるそうです。受講生の中には、納得できる版画が刷れるまでチャレンジする姿も見られ、楽しみながら東海道の歴史や文化に触れる良い機会となりました。

2月10日(水)に、今年度最後となる第8回講座「閉講式とお楽しみ会」を開催しました。運営委員長や事務局長の挨拶のあと、受講生15人の皆出席を表彰しました。お楽しみ会では、ミュージックセラピーオンタイムの皆さんをお迎えし、バンドの生演奏に合わせて懐かしい唱歌などを、マスクをしたままハミングで歌い楽しみました。今年度は、昨春に全国規模で緊急事態宣言が発出され、一時講座が開催できなくなるなど影響が多々ありました。また6月以降も、楽しみにされていたグループ学習も中止して感染症対策をとりながら運営となったにもかかわらず、ご理解いただきありがとうございました。



令和3年4月から、移動図書館「わかさ号」の巡回日時が下記のとおり変更になります。

☆巡回場所: 渋川福複センター
☆巡回日時: 毎月 第四金曜日
16時～16時30分

定年退職のお知らせ

* 事務局長 小玉和子

地域の皆様には、長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。



来年度渋川やすらぎ学級受講生募集!

渋川まちづくりセンターでは、60歳以上の皆さんに学びの場を提供するとともに、受講生同士の交流を深めることを目的に毎年「渋川やすらぎ学級」を開催しています。来年度は、ちぎり絵体験や5月にオープンする「キラリエ草津」の見学、東京オリンピック「競泳」の見どころを聞く!などを予定しています。

詳しくは、3月15日号の広報くさつと同時に配布する「渋川やすらぎ学級受講生募集ちらし」をご覧ください。申込書に必要事項を記入し参加費を添えて渋川まちづくりセンターの窓口でお申し込みください。

※講座は、今後の感染拡大の状況により内容を変更、もしくはやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。



≪草津市役所からのお知らせ≫ ☎077-561-2324 (まちづくり協働課)
令和3年4月から、『広報くさつ』等市からの配付物は月1回になります。

渋川まちづくりセンター利用者アンケート結果の報告

利用者アンケート調査を令和3年1月5日(火)～26日(火)の期間で行いましたので、アンケートの主な結果を報告いたします。

◎利用者の年齢: 70歳代45.9%、60歳代22.9%、80歳代13.2%で60歳以上が82%を占めます。

◎利用者のお住まい: 渋川学区67.3%、市内他学区24.9%、市外7.8%となっています。

◎駐車場の広さ: 駐車スペースが狭いとの意見がありました。

◎職員の対応: 満足・やや満足合わせて73.6%、普通24.9%で普通以上が98.5%で大半の方に好評価されていると思っています。

≪ご協力ありがとうございました≫